



平成22年7月30日

各位

会社名 株式会社 構造計画研究所
 代表者名 代表取締役社長 服部 正太
 (JASDAQ・コード4748)
 問合せ先 取締役 常務執行役員 三木 隆司
 電話 03-5342-1141

平成22年6月期業績予想との差異および配当予想の修正に関するお知らせ

平成22年6月期(平成21年7月1日~平成22年6月30日)の業績について、平成22年5月24日に公表した業績予想との差異が生じる見込みとなりましたので、期末配当予想の修正と併せて、下記のとおりお知らせいたします。

なお、平成22年6月期決算につきましては、平成22年8月13日に正式に発表する予定であります。

記

1. 平成22年6月期業績予想との差異

(1) 通期業績予想数値との差異(平成21年7月1日~平成22年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,500	百万円 880	百万円 800	百万円 20	円 銭 3 41
今回修正予想(B)	9,730	507	437	218	37 32
増減額(B-A)	769	372	362	238	40 73
増減率(%)	7.3	42.4	45.4		
(ご参考)前期実績 (平成21年6月期)	10,390	726	621	264	44 64

(2) 差異の理由

当期における業績は、厳しい経済環境下において、顧客企業の情報化投資や研究開発投資に対する慎重な姿勢が続いた影響により、第3四半期以降に見込んでいた受注が伸び悩んだことから、売上高は97億30百万円に留まることとなりました。

利益につきましては、売上高の減少を補うべく、外部委託費の削減をはじめとする採算性の向上に努めてまいりましたが、当期末決算において、損失が見込まれるソフトウェア開発に係る仕掛品の評価減を行ったこと、さらに、将来の損失に備えるために新たに適用した受注損失引当金を計上したことなどにより、収益が圧迫されることとなりました。この結果、営業利益は5億7百万円、経常利益は4億37百万円、当期純損失は2億18百万円となり、それぞれ業績予想数値を大幅に下回る見込みとなりました。

2. 平成22年6月期配当予想の修正

(1) 配当予想修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として業績に連動した利益還元を行うべく、配当性向を30%とすることを目指しております。

当期における業績は、前記のとおり、期初予想を下回ることが見込まれますが、当期における特別損失計上はあくまでも一過性のものであることから、株主様への継続的かつ安定的な利益還元を行うとの趣旨に鑑み、特別損失を期末配当金の算定基礎から控除し、平成22年6月期の期末配当金につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。予定であります。

なお、当該期末配当金につきましては、平成22年9月16日開催予定の当社第52期定時株主総会において、正式決定する予定であります。

(2) 修正の内容

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭 23 00	円 銭 23 00
今 回 修 正 予 想				15 00	15 00
(ご参考)前期実績 (平成21年6月期)				18 00	18 00

以 上